

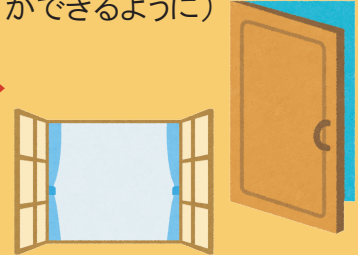
1 じぶん
自分をまもる
つくえ
(机やテーブルの
したにかくれる)



2 ひ け
火を消す。ガスを
とめる。元栓をしめ
る。でんき
電気のブレーカーをき
る。



3 ドアをあける、まど
窓をあける (逃げるこ
とができるように)



8 よしん おお じしん
余震 (大きい地震
のあとに来る地震)
ちゅうい
に注意する。ラジオなどで
じょうほう
情報をきく。



じしん
**地震だ！
どうする？**

あわてない！
おちついて！
つぎのよう^{こうどう}
行動にする。

4 くつ
靴をはく。
(ガラスなどをふ
まないように)



7 となり、ちか あん
となり、近くの安
ぜん かくにん
全を確認する。ブ
ロックのへい き
塀の扉に気をつける。



6 いえ
家がこわれそう、つ
なみ やま がけ
波、山、崖くずれが
おきそうなときはすぐにげ
る。



5 だいじ
大事なもの、食べも
の、飲みものなどを
もちだす。



でんわ
○電話はなるべくつかわない。

ひなん
○避難(にげる)するとき、車はつかわない。

ようちえん ほいくえん しょうがっこう ちゅうがっこう むか あんぜん かんが
○幼稚園、保育園、小学校、中学校の迎えは安全を考えてからにする。

じぶん いえ はな ととき かぞく お
○自分の家を離れる時は家族にわかるようにメモを置いておく。

じぶん いえ あんぜん じぶん いえ
○自分の家が、安全なら自分の家にいる。

たか たてもん おお たお
○高い建物は、大きく、ゆっくりゆれるからタンスなどが、倒れたり、ものがおちてくるからきをつける。

さいがい おきたとき たべもの のもの みつかばん じぶん なん
○災害が起きたとき、食べ物、飲み物は3日分ぐらいは自分で何とかできるようにしておく。

まも たす
○ルールを守る。助けあう。

